



2022年12月15日

各 位

会 社 名 株式会社プロレド・パートナーズ
(コード：7034 東証プライム)
代表者名 代表取締役 佐谷 進
問合せ先 管理本部長 外山 吉丸
(TEL. 03-6435-6581)

通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年9月14日に公表しました2022年10月期(2021年11月1日～2022年10月31日)の通期業績予想と本日公表の実績値との差異が生じたので、お知らせいたします。

1. 2022年10月期通期連結業績予想と実績値の差異(2021年11月1日～2022年10月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (単位：円)
前回発表予想(A)	2,515	△487	△698	△1,287	△117.87
実 績 値(B)	2,718	△148	△209	△871	△79.78
増 減 額(B-A)	202	337	489	415	38.09
増 減 率(%)	108.1	-	-	-	-
(参考)前 期 実 績 (2021年10月期)	3,649	726	523	533	48.13

2. 差異の理由

当社は、2022年6月14日に当期通期の連結売上高を2,515百万円へ引き下げたのち、2022年9月14日にソフトウェア資産に係る減損損失および繰延税金資産の一部取り崩しに係る法人税等調整額を計上したことにより、営業利益を△487百万円、経常利益を△698百万円、親会社株主に帰属する当期純利益を△1,287百万円へ引き下げております。

当該開示を行った後も当社を取り巻く経営環境は依然として厳しいものでありますが、以下の理由により前回発表予想を上回る結果となりました。

① 売上高

当社が顧客より受領する成果報酬は、当社が提供するコンサルティングにより年間で削減されるコストの金額に対して一定の料率を乗じたものを報酬総額とし、当該金額を3年で分割して売上計上しております。2022年6月14日の発表数値においては、2021年10月期以前の受注に係る2年目および3年目計上分の売上高について、インフレ進行や電力料金高騰による影響を織り込んでおりました。しかしながら、これらの影響を受けることなく一部売上計上できた案件があること、子会社である知識経営研究所にて「収益認識に関する会計基準」を適用したことにより、売上高が増加しております。

② 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

売上高が増加したことに加え、当社コスト構造の見直しにより費用抑制に努めたことが利益の増加要因となっております。

以 上